

全日本建設交運一般労働組合
全国酸素部会新聞発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町1 2番

TEL 072-241-6660

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>

日本産業・医療ガス協会への要請行動

2022年4月18日(月)に、建交労全国酸素部会として日本産業・医療ガス協会(以下、協会)への要請行動をおこないました。今回は労使中央行動で予定していた1月31日(月)及び3月2日(水)と、2度にわたりコロナウィルスによる蔓延防止等重点措置の発令により延期となっていました。重点措置解除に伴い急な要請行動ではありましたが早く引き受けていただき、要請に行くことができました。

全国トラック部会から鈴木事務局長、全国酸素部会から相澤部会長(幸栄運輸支部)、須田副部会長(東進産業分会)、村上(寿運送分会)、鷹巣事務局長次長(大陽液送分会)の5名が参加し、協会側からは常務執行役員の岩戸氏、前田氏、岡田氏の3名に対応をしていただきました。はじめに相澤部会長より要請内容としての、『輸送の安全が担保できるよう、「改正貨物自動車運送事業法」の遵守を周知すること。』や、『「働き方改革関連法」の付帯決議として示された「改善基準告知」スケジュールや、長時間労働を抑制するため、客先からの着時間指定の廃止、無理のない配送時刻、過労運転・労働組合排除など、違法・脱法行為を前提とした事業者との取引を排除し、法令遵守につとめる事業者との取引とすること。』などの要請内容の読み上げをおこない、全国酸素部会として取組んだアンケートデータとして、2022年春闘トラックアンケート集計表(医療・工業ガス)、2022年度酸素独自アンケート集計表、2020年度から2022年度までの酸素独自アンケート比較表3点の抽出結果の報告をおこないました。

協会側からは事前に送付したアンケート集計結果について、協会が作る物流ワーキンググループ会議において、配布・説明をおこなったと報告がされました。また情報共有をはかると共に、安全を第一にしたローリー運転者の安全指針の改定や作業手順などの映像化などについての説明がありました。要請内容にもある「働き方改革関連法」に基づいた長時間労働や無理な着時間指定、翌日業務までの「勤務間インターバル制度」などの意見交換をおこない、2022年度酸素独自アンケートでは無理な着時間指定が「ある、時々ある」と回答した人が78%もあり、3年間の比較表においても「ある・時々ある」の回答が年々増加していることに対し、協会側でもいろいろな側面での長時間労働につながる着時間指定の廃止にむけた考えや、勤務間インターバル確保についての考えなどを聞くことができました。アンケートに記入された「危険を感じた事例」については、危険だけではなく違法な事案なども多数紹介し、違法な部分については協会側から周知をおこなうと回答をいただきました。最後に



は協会側から周知をおこなうと回答をいただきました。最後にコロナウィルスなどの影響で開催できていない『高圧ガス輸送の保安講習会』への次回開催時での講師派遣のお願いと、再度、危険な充てん作業や長時間労働につながる着時間指定の撤廃などについて、協会からの各企業・メーカーへの発信を要請し今回の要請行動を終了しました。春闘アンケートのデータということもあり、急な要請行動ではありましたが、お忙しい中、対応していただいた協会の方々と、参加していただいた役員のみなさまのご協力により、良い要請行動をおこなうことができました。本当にありがとうございました。

全国酸素部会 事務局長 村上吉樹

トラック宣伝行動



4月1日神奈川県南支部の仲間と共にトラック宣伝行動に参加しました。今回行動した神奈川県大和市にある東伸トラックステーションは、関東で二番目の大きさで駐車スペースは100台以上あり、全国のトラックドライバーが休憩や荷待をしています。

行動内容は、新型コロナウイルスに関する会社の対応、労働環境の実態をドライバーと対話しながらアンケート用紙を活用し集約しました。

午前中約二時間でアンケート30筆と宣伝物、神ト協と全国トラック部会からボックスティッシュやマスク宣伝ビラ等30セットを手渡しました。この日は前夜に降り続いていた激しい雨は止みましたが、寒の戻りもあつて

曇り空の寒さの中、参加者は震えながらも元気に行動に取り組みました。

全体の参加者は7名で、酸素部会から扶桑運輸分会の小島さん東進産業分会の須田2名で参加しました。

東進産業分会 須田圭二

45年間ご苦労さまでした

この度、金川産業分会の大塚さんが退職されます。すでに退職された元分会長の藤本さん、元書記長の宮地さん、現分会長の岡部で慰労会を開催しました。会では組合結成時の話から現在までの話で盛り上がりました。全員の一致した意見は、「組合を結成して本当に良かった。組合が無ければ今の生活は絶対有り得ない」という事でした。

大塚さんは現役で40年、嘱託で5年乗務され、組合結成前、結成後のすべてを知る方でした。県本部の役員としても活躍され、分会とのパイプ役を務めていただきました。まだまだお元気ですから第二の人生をお楽しみください。お疲れ様でした。

金川産業分会 岡部良一



大阪トラックパレード決起集会

4月3日、小雨がパラパラと降り始める中トラックパレードが舞洲で開催されました。

関西支部芦崎事務局長の挨拶で始まり、スローガンの「22春闘勝利、コロナ不況から経済を活性化、大幅賃上げ獲得で魅力ある運輸、建設業界をめざそう」を掲げ決起集会が行われました。

関西支部、此花支部、関西合同支部、関西ダンプ支部から集まったトラック、宣伝カー含め計32台、70名の参加です。

サブスローガンでもある「ロシアのウクライナ侵略に反対」も掲げています。

決起集会の最後に大阪トラック部会の植西部会長からの「団結ガンバロー」で気持ちが引き締め、トラックパレードが難破方面に向け出発しました。

寿運送分会 長谷川 慎治

